

「第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会」実施要領

1 名 称

「第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会」（以下「大分県大会」という。）

2 主 催

大分地方法務局、大分県人権擁護委員連合会

3 後 援

大分県教育委員会、大分合同新聞社、朝日新聞大分総局、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社大分支局、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、株式会社エフエム大分、大分トリニータ

4 趣 旨

次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことなどによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けること、及び入賞作品を国民に周知広報することによって、広く一般に人権尊重思想を根付かせることを目的とする。

5 実施方法

大分地方法務局人権擁護課及び各支局並びに各人権擁護委員協議会は、適宜の方法により、地区大会を実施し、下記7(1)の推薦基準に従いその代表作品を大分県大会に推薦する。

大分地方法務局及び大分県人権擁護委員連合会は、地区大会から推薦された代表作品について、下記8の大分県大会審査会において審査を行い、表彰する。特に優秀な作品については、表彰式を実施する。

6 応募規定

(1) 対象

中学校(義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む。以下同じ。)及び特別支援学校の中学部に在学する生徒並びに外国人学校その他の教育施設に在学する者であって中学生に準ずる生徒

(2) 募集区分及び作品の内容

ア 作文部門

日常の家庭生活、学校生活、グループ活動あるいは地域社会との関わりなどの

中で得た体験等を通じて、基本的人権の重要性、必要性について考察したことなどを題材とした作文とする。

イ 自由表現部門

中学校の特別支援学級又は特別支援学校の中学部に在学する生徒で、作文を書くことが困難な事情がある場合は、日常の家庭生活、学校生活、グループ活動あるいは地域社会との関わりなどの中で得た体験等を通じて、基本的人権の重要性、必要性について「誰かに伝えたいこと」などを「人権尊重」、「自由平等」、「平和」、「思いやり」、「友達」、「友情」等を題材として制作した絵画、書写、工作物、陶芸品等、自由な表現形式による作品とする。

(3) 作品の規格

ア 作文部門

学校名、氏名、題名を除いて、400字詰原稿用紙5枚以内とする。外国語で作文を作成した場合又は視覚に障害があり、点字若しくは録音テープで作文を作成した場合には、それぞれ400字詰原稿用紙5枚以内の翻訳文、墨字又は反訳文とする。

なお、5枚を超えた場合は、審査の対象とならない。

また、提出する作文については、手書き、パソコン等で作成したものいずれも可とする。

イ 自由表現部門

絵画及び書写については、次の規格の用紙を用いるものとするが、「縦長」又は「横長」のいずれでも差し支えなく、彩色・技法は自由とする。

(ア) 絵画 「四つ切り」又は「八つ切り」

(イ) 書写 「半紙」

(4) 応募方法

ア 送付先

各学校において、応募作品（作文の原本及び自由表現部門作品の現物）に下記イの必要書類を添えて、別紙1の区分により大分地方法務局人権擁護課又は各支局宛てに送付又は持参する。

なお、自由表現部門については、1校当たり5作品までとする。

イ 必要書類

(ア) 作文部門 「第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会応募内訳票（作文部門）（別紙2）」及び「第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会推薦作品提出票（作文部門）（別紙3）」

(イ) 自由表現部門 「第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会応募内訳票（自由表現部門）（別紙4）」及び「第44回全国中学生人権作文コンテ

スト大分県大会推薦作品提出票（自由表現部門）（別紙5）」とする。

(5) 応募期限

令和7年9月5日（金）

(6) その他

作品の創作に当たっては、上記4の趣旨及び(2)の内容に沿ったものとする。特に、以下の点に注意すること。

ア 応募作文は、未発表のものに限る。

イ 盗作や不適切な引用等、既に発表済の著作物を不正に利用した作文を提出したものと認められた場合は、審査の対象とならない。

ウ 生成AIの利活用等により自己の体験等や考察に基づくことなく創作した文章を自己の作文として提出したものと認められた場合は、審査の対象とならない。

7 推薦基準等

(1) 推薦基準

ア 作文部門

地区大会の代表作品数は、その総応募数に応じて、次のとおりとする。

1, 500編以下の場合	2編
1, 501編以上3, 000編以下の場合	3編
3, 001編以上5, 000編以下の場合	5編
5, 001編以上の場合	8編

イ 自由表現部門

地区大会の代表作品数は、作品の種類ごとに2作品までとする。

(2) 推薦期限

令和7年9月29日（月）

8 大分県大会審査会

上記7に基づき地区大会から推薦された代表作品について、次のとおり審査を行い、表彰する。

(1) 審査員

主催者において委嘱する審査員

(2) 入賞発表

令和7年11月上旬までに、主催者から応募者の所属する中学校等に通知する。

(3) 表彰（予定）

ア 作文部門

○ 最優秀賞（大分地方法務局長賞、大分県人権擁護委員連合会長賞）

(各1編)

- 優 秀 賞 (各後援団体 (12団体) 賞) (各1編)
- 奨 励 賞 (若干編)

イ 自由表現部門

- 自由表現力賞 (応募数により決定する。)
- 奨 励 賞 (応募数により決定する。)

9 中央大会への推薦等について

(1) 大分県大会の作文部門における各賞受賞作品の中から、「第44回全国中学生人権作文コンテスト」(以下「中央大会」という。)実施要領に基づき中央大会に推薦する。

(2) 入賞発表の日 (予定)

令和8年1月20日 (火)

(3) 表 彰 (予定)

- 内 閣 総 理 大 臣 賞 (1編)
- 法 務 大 臣 賞 (1編)
- 文 部 科 学 大 臣 賞 (1編)
- 法 務 副 大 臣 賞 (1編)
- 法 務 大 臣 政 務 官 賞 (1編)
- 全国人権擁護委員連合会会長賞 (1編)
- 一般社団法人日本新聞協会会長賞 (1編)
- 日 本 放 送 協 会 会 長 賞 (1編)
- 法 務 事 務 次 官 賞 (3編)
- 法 務 省 人 権 擁 護 局 長 賞 (25編)
- 奨 励 賞 (若干編)

(4) 感謝状

以下の中学校等に対して、主催者から感謝状を贈呈する。

- ア 中央大会に作品を推薦された応募者が在学する中学校等
- イ 感謝状を贈呈する相当の理由があると認められる中学校等

10 その他

(1) 応募作品の取扱い

ア 作文部門

応募作品は、返却しない。

イ 自由表現部門

応募作品は、返却する。

(2) 応募作品の著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、主催者に帰属するものとする。

(3) 大分県大会及び中央大会における入賞作品については、応募者の学校名、学年、氏名、応募作品の題名及び内容を公表することを予定している（大分県大会入賞作品集、中央大会入賞作文集、法務省ホームページ、大分地方法務局ホームページ等による公表及び新聞、テレビ等の報道機関による報道等）。

なお、作品の公表に当たっては、応募者本人及びその保護者の意向に応じて、「氏名」、「学年・氏名」又は「学校名・学年・氏名」を非公表とする。

おって、作品の公表に当たっては、作品の趣旨を損なわない範囲で一部修正することがある。

(4) 作品の公表後、本人が法務省ホームページ、大分地方法務局ホームページへの掲載を望まなくなった場合には、大分地方法務局人権擁護課にその旨を申し出るものとする。

(5) 大分地方法務局は、上記(3)の公表作品について、法務省以外の第三者による刊行物への掲載を許可することがある。

第 4 4 回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会応募先一覧表

※学校が所在する市町村に対応する法務局（人権擁護課又は支局）宛てに、令和7年9月5日（金）までに応募願います。

学校所在 市町村	応募先 (所在地及び庁名)	郵便番号
		電話番号
大分市、別府市、 由布市、臼杵市	大分市荷揚町7番5号 (大分法務総合庁舎内)	870-8513
	大分地方法務局人権擁護課	097(532)3368
杵築市、 国東市、日出町	杵築市大字杵築665番地137	873-0001
	大分地方法務局杵築支局	0978(62)2271
佐伯市、津久見市	佐伯市野岡町二丁目13番25号	876-0815
	大分地方法務局佐伯支局	0972(24)0772
竹田市、豊後大野市	竹田市大字会々1525番地8	878-0011
	大分地方法務局竹田支局	0974(62)2315
中津市	中津市大字中殿550番地20	871-0031
	大分地方法務局中津支局	0979(22)0584
宇佐市、 豊後高田市、姫島村	宇佐市大字上田1055番地1 (宇佐合同庁舎2階)	879-0453
	大分地方法務局宇佐支局	0978(32)0508
日田市、 玖珠町、九重町	日田市田島二丁目11番46号	877-0025
	大分地方法務局日田支局	0973(22)2719

第4 4回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会応募内訳票
(作文部門)

学校名					
所在地					
電話番号					
校長氏名					
担当教師氏名					
応募内訳					
項目	学年	1年生	2年生	3年生	合計
作文を書いた生徒の総数 (※1)					
提出作品の数(※2)					

※1 「作文を書いた生徒の総数」欄

本コンテストに応募するに当たり、作文を書いた全生徒数を、学年別で記入願います。

※2 「提出作品の数」欄

提出いただく作品数を学年別で記入願います。

第 4 4 回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会推薦作品提出票（作文部門）

		(ふりがな) 学校名	
番号	ふりがな 氏 名	学年	作 品 名 (ふりがな)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※枠が足りない場合は適宜コピーして使用して下さい。

第4 4回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会応募内訳票
(自由表現部門)

学校名				
所在地				
電話番号				
校長氏名				
担当教師氏名				
応募内訳				
項目 \ 学年	1年生	2年生	3年生	合計
作品を制作した生徒の総数 (※1)				
提出作品の数(※2)				

※1 「作品を制作した生徒の総数」欄

本コンテストに応募するに当たり、作品を制作した全生徒数を、学年別で記入願います。

※2 「提出作品の数」欄

提出いただく作品数を学年別で記入願います。

第44回全国中学生人権作文コンテスト大分県大会推薦作品提出票（自由表現部門）

※応募作品は5編までです。

(ふりがな)
学校名

1	ふりがな 氏名	学年	作 品 名 (ふりがな)
	学校記入欄（作品に表現した「誰かに伝えたいこと」）		
2	ふりがな 氏名	学年	作 品 名 (ふりがな)
	学校記入欄（作品に表現した「誰かに伝えたいこと」）		
3	ふりがな 氏名	学年	作 品 名 (ふりがな)
	学校記入欄（作品に表現した「誰かに伝えたいこと」）		
4	ふりがな 氏名	学年	作 品 名 (ふりがな)
	学校記入欄（作品に表現した「誰かに伝えたいこと」）		
5	ふりがな 氏名	学年	作 品 名 (ふりがな)
	学校記入欄（作品に表現した「誰かに伝えたいこと」）		

※ 学校記入欄には、誰にどのような気持ち(思い)を伝えるために制作したのかなどを具体的に記載願います。